

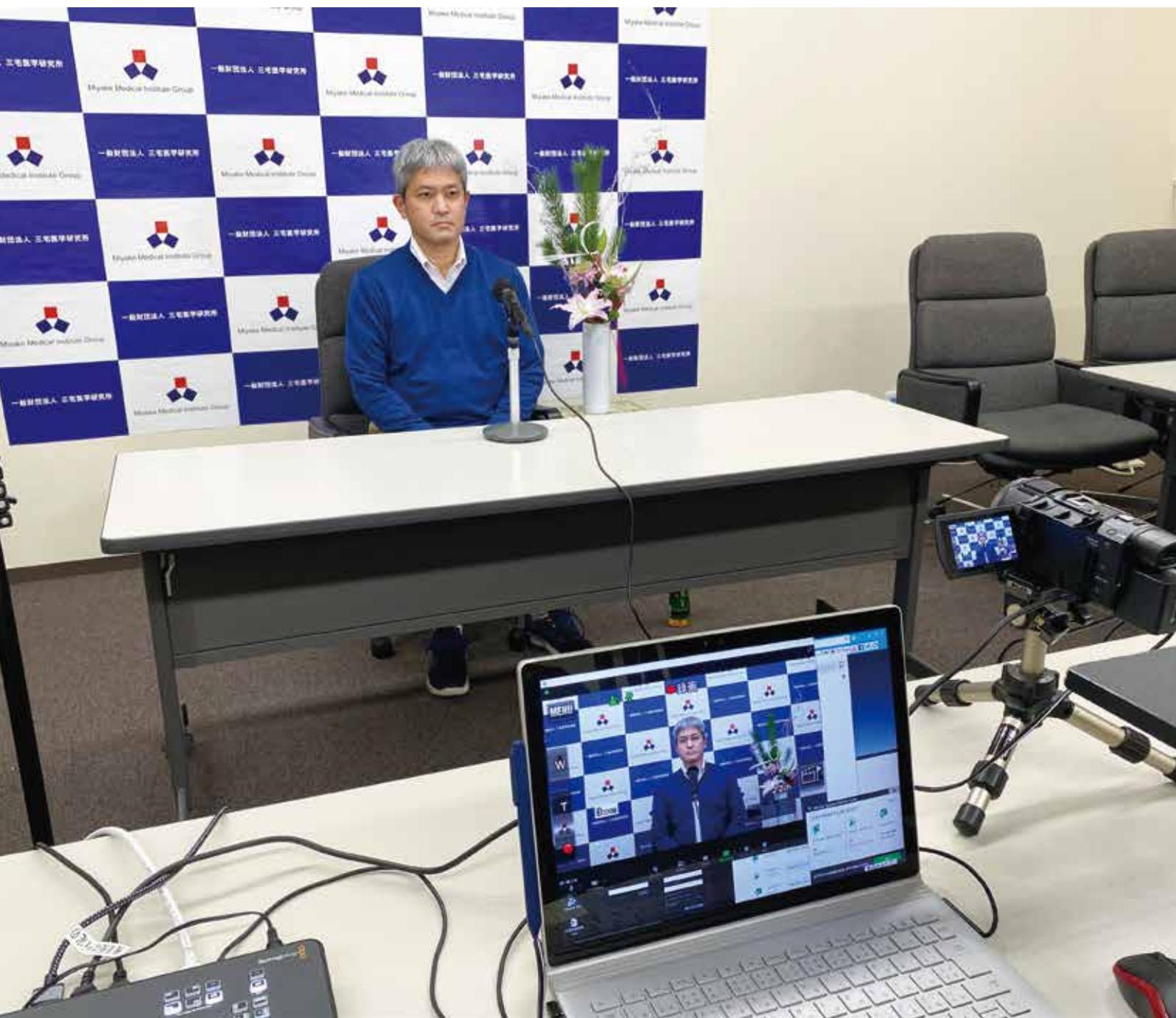
広報誌



Miyake Medical Institute Group

一般財団法人三宅医学研究所

みやけ通信



vol. 68 2021.01

特集 | 年頭のご挨拶

〈一般財団法人 三宅医学研究所 代表理事 三宅信一郎〉

YouTube公式チャンネル開設!

連載 vol.30 サラマンダーをのぞいてみよう! 〈健康増進施設サラマンダー〉

第7回かがわ介護王座決定戦 入浴部門 審査員特別賞受賞 〈通所事業課〉

ICT活用で変わる居宅介護支援〜コロナ禍でケアマネの新たな挑戦〜

〈ケアプランセンターみやけ〉

年頭のご挨拶

一般財団法人 三宅医学研究所
代表理事 三宅 信一郎



2021年元旦 屋島山頂にて

新年明けましておめでとうございます。

皆様それぞれにいろんな思いを胸に、新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますとご承知の通り、中国武漢から発生した新型コロナウイルスがまたたく間に世界中に拡大し、これまで経験したことのない流行となりました。日本のみならず、世界を取り巻く経済環境にも大きな打撃は避けられず様々な業種において業績が悪化しております。医療介護業界においても外来患者さんの受診を控え、通所系サービス利用控えなど各部署で業績の悪化を余儀なくされました。

業務形態の大きな変更を行ったことに伴い、患者様とそのご家族、当法人利用者様にご迷惑、ご苦勞をお掛けいたしました。しかし、皆様の多大なる協力を得ることができ、無事に新しい年を迎える事が出来たことにこの場をお借りして心から御礼を申し上げます。

さらに、まだまだ完全なる終息が見えない中ではありますが、基本に忠実に標準感染予防策を徹底し、当法人を利用されている方々に感染が広がることがないように徹底的に努めて参る所存でございます。ポストコロナの世界は、感染拡大前の世界と比較し、全く違う世界に変容し、今までの常識が非常識となるだろうと言われています。入院患者様におかれましても、ご家族との直接の面会を禁止し、タブレット端末越しのリモート面会とさせていただきます。ご不便をおかけしまして心苦しい限りであります。

歴史を振り返ってみましても、過去に起こったいくつかの感染症のパンデミックは必ず収束する時が訪れてきました。明けない夜はないと信じて前向きに取り組んでいかなければなりません。一方で、ワクチンの開発が進み、海外では接種も始まっており、わずかながら明るい兆しもあります。ウイルスの正体が少しずつ明らかとなり、治療方法も確立しつつあるようです。もうしばらく時間がかかりそうですが、一歩一歩前進していることは間違いありません。

しかし、このような状況であるからこそ、新しいアイデアも考えていかなければなりません。このコロナ禍で私たちの業務改善、改革を積極的に進めていきます。

職員一人一人がその責任を自覚し、地域医療に貢献できるよう努めますので、今後ともどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。今年が皆様にとって健康で明るい年であることを御祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

Miyake Medical Institute Group YouTube公式チャンネル開設!



一般財団法人三宅医学研究所は、YouTube公式チャンネル みやけチャンネルを開設しました。このチャンネルでは、当法人の施設や取り組みの紹介、さまざまな行事の動画などを配信します。

リハビリテーションの様子やサラマンダーの体操教室、講演会の配信など、皆さまを元気にできるような動画を続々とUPしてまいりますので、チャンネル登録よろしくお願ひします。また、1月26日に高松市健康づくり推進課主催で開催される、当院の池田Dr.による「パーキンソン病の症状と治療」講演会も配信を予定しています。当日、会場に参加出来ない人も後日、みやけチャンネルで配信する予定ですので、関心のある方はぜひご覧ください。皆さまの、イイネ、温かいコメントをお待ちしています!

YouTube公式チャンネル みやけチャンネル はこちらから ⇒



現在、配信している動画です



院内保育所でふてふのクリスマス会の様子です。サンタさんからプレゼントをもらって園児たちも大喜びです。



栄養状態の評価方法とは
体組成計ってなに?
リハビリで使用する機器紹介します!

リハビリを行う上で栄養状態は非常に重要です。今回は、当院で入院患者様の栄養状態の評価をどのように行っているのかご紹介いたします。



三宅リハビリテーション病院の施設紹介になります。



セントラルパーククリニックの院長から皆様へ新年のあいさつです。



当院のリハビリテーション紹介します
リハビリ室ってどんなところ?

当院のリハビリテーション室がどのような環境なのか知って頂くための動画となります。



三宅リハビリテーション病院の院長から皆様へ新年のあいさつです。

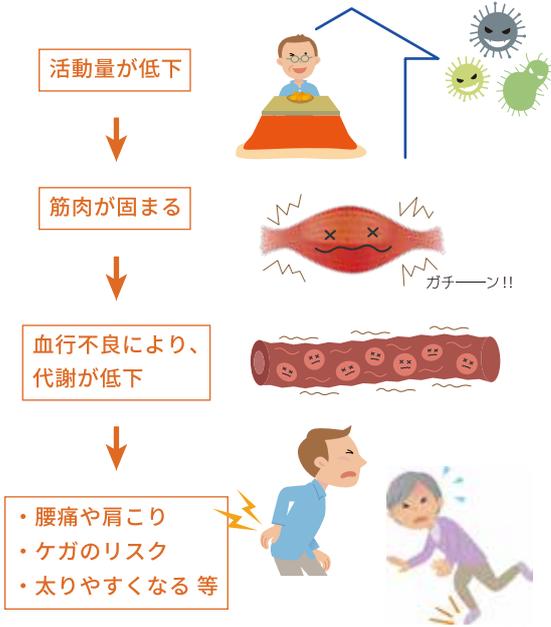
8:17 / 9:28



表紙写真

表紙の写真は上記に掲載しておりますYouTube公式チャンネル みやけチャンネルの撮影風景です。これからどんどん動画をUPしてまいります。

2021年 with コロナ



昨年はコロナ禍の影響で買い物や旅行など外に出る機会が減った方は多いのではないのでしょうか？ また、日中の活動量も減ったと感じている方も多いと思います。家の中で、同じ体勢のまま、テレビやスマートフォンを見る時間が増えると、筋肉がカチカチに硬まってしまい、血流が悪くなります。血行不良は、腰痛・肩こりなどの原因になるおそれもあります。

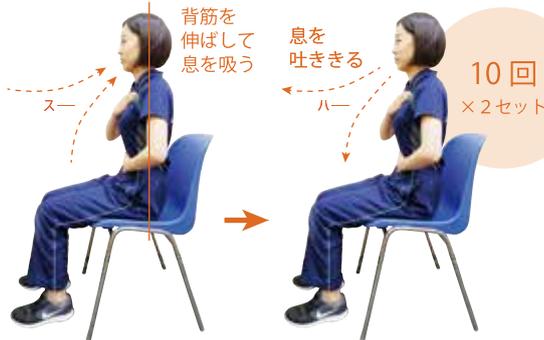
また、筋肉が硬くなり柔軟性が低くなることで、関節の可動域が狭くなります。そのような状態が続くと、ケガのリスクを高めるなど身体に様々な問題を引き起こします。

体力維持・体型維持のためには運動が欠かせません。ストレッチなどの運動で凝り固まった筋肉をほぐしていきましょう！

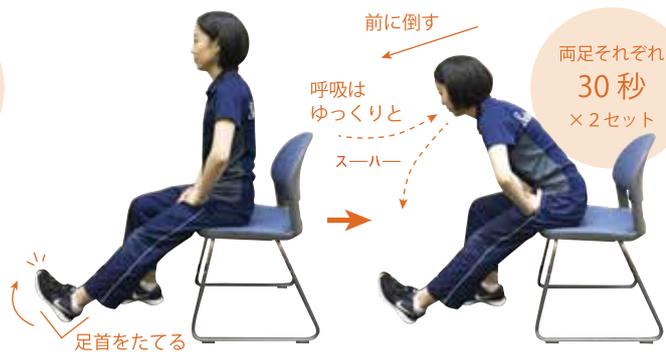
まずは、一週間TRY！

+α ウォーキングなどの有酸素運動を行うと、よりGOOD！

腰痛予防 腹式呼吸



腰痛予防 もも裏のストレッチ



肩こり解消 肩回し



転倒防止・代謝向上 もも上げ



出来たら
チェック
してみよう

- 1day
- 2day
- 3day
- 4day
- 5day
- 6day
- 7day



新年明けましておめでとうございます。

サランダーをいつもご利用いただきありがとうございます。本年も、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、更なるサービスの向上に努めて参ります。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお祈りいたします。(サランダー 主任 高田佑基)



※スタッフもマスク着用・検温・手洗い・消毒等、感染対策に取り組んでおります

感染対策実施中

新規会員募集中!! ☎087-863-3377 までお気軽にお電話ください。



入浴部門 審査員特別賞受賞！

私たち介護福祉士は、常にご利用者様に最高のサービスを提供できるよう日々研鑽しております。その成果を試す場としてサンメッセ香川で開催された「第7回かがわ介護王座決定戦」に参加させていただきました。介護王座決定戦は、全9チームが出場し、食事・入浴・排泄の介護技術を競う大会です。天神前みやけ通所からは阿河・土屋・吉田が参加しました。



出場した土屋・阿河・吉田▶

日頃行わない分野も模擬練習を経て.....

天神前みやけ通所リハビリでは、食事と入浴のサービスを提供していないため、参加決定から毎日終業後に、介護福祉士や療法士を交えて模擬練習を実施しました。当日は緊張して介護が慌ただしくなってしまう、残念ながら優勝はできませんでした。しかし、笑顔や優しい言葉遣いが評価され、入浴部門で「審査員特別賞」をいただきました。

競うだけではない、技能向上のために

競技終了後、介護福祉士会による介護のデモンストレーションが行われ、一動作ごとの細かな声かけや要介護者に合わせた配慮(ベッドの高さ調整、水温の確認)などを改めて学ぶことができました。主催者よりフィードバックをしていただき、介護福祉士全員で確認しました。次回はもっと良い賞を取れるよう、今回の反省を活かして声かけの方法や介護技術を改善していきたいと思っております。これからもご利用者様が通所リハビリを利用したいと思っていただけるサービスを提供できるよう努めてまいります。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

旧年中はご利用者様方およびご関係者様には格別のご支援とご厚情を贈り、厚くお礼を申し上げます。新年は1月4日から平常営業させていただいております。

「牛の歩みも千里」という言葉にあるように、本年も職員一丸となり、皆様方にご満足いただけるサービス提供のため努力を日々怠らず、ご利用者様の目標達成に向けたお手伝いをさせていただく所存でございますので、より一層のご支援ご鞭撻を贈りますようお願い致します。

皆様のますますの御発展をお祈り申し上げ、年始のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

天神前みやけ通所リハビリテーションセンター サービス提供責任者 小笠原 揚介
セントラルパーククリニック通所リハビリテーションセンター サービス提供責任者 高田 佑基



ICT活用で変わる居宅介護支援 ～コロナ禍でケアマネの新たな挑戦～

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、皆様の生活様式が今までと変わりご苦労されているのではないのでしょうか。ケアマネジャーの業務においても、入所施設や病院の面会制限、初めて介護保険を利用する方に面会ができない状況での支援開始、関係者が集まり話し合いを行なう場(担当者会議)の制限、通所サービスの休業に伴う支援の調整、研修会の中止など今までに経験したことのない状況となっています。初めてのことばかりで、どのように対応すれば良いのか日々悩みながら奮闘してきました。

当事業所では感染症対策の一つとして「ZOOM」などのウェブ会議システムを活用しています。感染状況の動向が予測できない状況において、介護サービスの質を担保していくためにもICTの活用は必要条件になってきていると感じます。人と人との接触の回避など感染予防策を優先せざるを得ない状況の中で行った取り組みを紹介します。



利用者様との面談

施設入所利用者様と直接面談ができず、オンライン面談を行いました。利用者様の表情や話ぶりを確認することができ、利用者様の体調確認や気持ちを汲み取ることが出来ました。また、お互いの顔が見えることで信頼関係が作りやすかったです。

担当者会議

利用者様の状況、意向の把握やサービス検討等を行う為に「LINE」を使用しオンラインにて担当者会議を開催しました。ご本人が生の声で思いや考えを伝えることで会議に参加した全員で本人の意向・支援の方針・サービス内容を共有することができ、チームとして同じ目標に向かって支援できました。



研修

会場に集まって行なう研修会の中止が相次いでいる中、オンライン上での研修が増えています。今までは、移動時間や費用を考えると県外の研修参加がなかなかできませんでしたが、オンラインだと参加できる研修も増え、以前に比べて幅広い内容の研修を受けることができました。

他居宅介護支援事業所との合同研修

毎年、他法人の居宅介護支援事業所との事例検討を含む合同研修会を行っています。今年は開催が難しいと思いましたが、ZOOMを使用することで例年同様に研修を開催することができました。ICTを活用することで他事業所との連携も図りやすく、意見交換会を行う機会も増やすことができました。

法人内の会議

勤務時間等の関係で事業所内の会議に参加ができない場合も、オンライン上で会議を開催する取り組みが始まり、事業所内の情報共有・共通認識がさらに図れるようになりました。また、会議の様子を録画して保存することで、議事録作成の手間を省くことができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の防止策として様々な行動が制限されていますが、ICTの活用により県外のご家族と担当者会議を行ったり、移動時間を短縮して研修や会議に参加するなど、通常の業務においても有効活用できると実感しました。ケアプランセンターみやけでは、新型コロナウイルス感染症の対策として、新型コロナウイルス発生時の対応マニュアルの作成や見直し、フレックス勤務導入等の感染対策も行なっています。感染予防を第一に考えつつ、利用者様がよりよい生活を送る為にどうすればいいのかを考え、これからも状況に合わせて柔軟に対応できるようにしていきます。

【問い合わせ先】
ケアプランセンターみやけ
TEL:087-832-5630



Miyake Medical Institute Group

みやけ通信

企画・発行

一般財団法人 三宅医学研究所 広報委員会

〒760-0018 高松市天神前5-5

TEL:087-831-2101 FAX:087-835-1886

MAIL: zaidan@miyake.or.jp



home page



病院 facebook



セントラル facebook



てふてふ facebook

一般財団法人三宅医学研究所

- 三宅リハビリテーション病院
- セントラルパーククリニック
- 健康増進施設サラムンダー
- ケアプランセンターみやけ
- 訪問看護ステーションみやけ
- M M I パーキング

<https://www.miyake.or.jp>

